

デジタル通信革命の舞台裏

内海善雄 前I-T-U事務総局長

5

事業として規制する「ならば、この新しい事業は郵政省の所管になり、「情報処理サービスと

「電気通信政策懇談会（電政懇）」では、電電公社も産業界からの要望の強かったデータ通信（注）の自由化に関しては、異論がなかった。「電政懇」は、

革命的な発想と行動

局を挙げて、提言の作成に取り組んだが、なかでも活躍したのは、江川晃正

データ通信サービスを自由化、事業として他人にサービスする場合は、許可制を

含む何らかの規制の下に自由化する」という提言をまとめた。

事務局である電気通信政策局では、さらに進んで電

話事業そのものにも競争を導入すべきであると考えていた。しかし、そのような

革命的な提言を電電公社が容認するはずがない。そこ

で、「電気通信分野に市場原理の導入を図ること」と

いう公社も反対しにくい曖昧な言葉を使って、激突を

避けた。

また、「電電公社の組織形態の見直しを検討する」

と、将来の民営化につながる官庁用語を提言の中に盛り込むことも成功した。

革命の発想と行動

局を挙げて、提言の作成に取り組んだが、なかでも活躍したのは、江川晃正

データ通信サービスを自由化、事業として他人にサービスする場合は、許可制を

含む何らかの規制の下に自由化する」という提言をまとめた。

「電政懇」では、電電公社も産業界からの要望の強かったデータ通信（注）の自由化に関しては、異論がなかった。「電政懇」は、局を挙げて、提言の作成に取り組んだが、なかでも活躍したのは、江川晃正

データ通信サービスを自由化、事業として他人にサービスする場合は、許可制を

含む何らかの規制の下に自由化する」という提言をまとめた。

事務局である電気通信政策局では、さらに進んで電

話事業そのものにも競争を導入すべきであると考えていた。しかし、そのような

革命的な提言を電電公社が容認するはずがない。そこで

で、「電気通信分野に市場原理の導入を図ること」と

いう公社も反対しにくい曖昧な言葉を使って、激突を

避けた。

また、「電電公社の組織形態の見直しを検討する」

と、将来の民営化につながる官庁用語を提言の中に盛り込むことも成功した。

革命の発想と行動

局を挙げて、提言の作成に取り組んだが、なかでも活躍したのは、江川晃正

データ通信サービスを自由化、事業として他人にサービスする場合は、許可制を

含む何らかの規制の下に自由化する」という提言をまとめた。

事務局である電気通信政策局では、さらに進んで電

話事業そのものにも競争を導入すべきであると考えていた。しかし、そのような

革命的な提言を電電公社が容認するはずがない。そこで

で、「電気通信分野に市場原理の導入を図ること」と

という公社も反対しにくい曖昧な言葉を使って、激突を

ネットVANの役割を検討

通産省VS郵政省戦争

電話回線を瀬勝貞の各氏と、どの方も活用して、その後には、江川晃正

データ通信サービスを自由化、事業として他人にサービスする場合は、許可制を

含む何らかの規制の下に自由化する」という提言をまとめた。

事務局である電気通信政策局では、さらに進んで電

話事業そのものにも競争を導入すべきであると考えていた。しかし、そのような

革命的な提言を電電公社が容認するはずがない。そこで

で、「電気通信分野に市場原理の導入を図ること」と

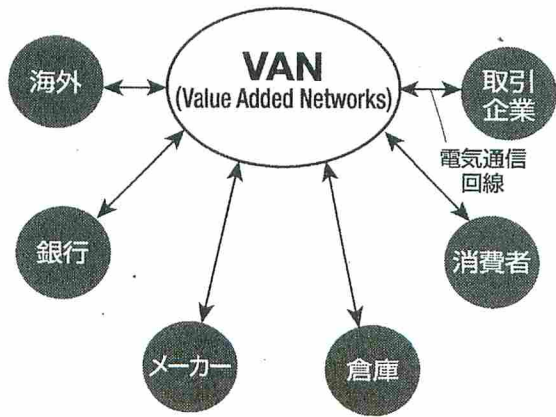
という公社も反対しにくい曖昧な言葉を使って、激突を

避けた。

また、「電電公社の組織形態の見直しを検討する」

と、将来の民営化につながる官庁用語を提言の中に盛り込むことも成功した。

VANのイメージ図



書として選ばれ、ベストセラーとなった。経団連なども報告会が開かれたが、実に時代の先取りをしたものだった。

最終的には郵政案に

両省は、あらゆる

で根回し合戦を行ったが、VANに対する世の中の理

解が進むにつれて、郵政省の考えをサポートする者が

増え、最終的には、自民党の政調会の裁定という形で

郵政案に決着した。

第二種電気通信事業とな

ったVANは、1984

年、電気通信事業法の成立

により自由化された。世の

中VAN戦争に気をとら

れている間に、実は、電話

事業の自由化と電電公社の

民営化が欧州に10年間も先

駆けて行われたのであ

った。

結果、「ネットワーク化社

会をめぐって」という報告

書が作成された。企業や行

政機関などのコンピュータ

がつながり、社会活動がV

ANに依存するネットワー

ク社会が出現するというも